

こたえ ^{かぶ} 株を守る

基礎 ③

^{かぶ} 株を守る (中国の古い話)

昔、中国の宋^{そう}という国に、一人の農民がいました。農民は、毎日、朝からばんまで、畑をたがやしていました。

その畑のすみには、木を切ったあとの切りかぶが、一つ残っていました。

ある日、一匹きのうさぎが、林の中から勢いよく走ってきました。うさぎは、その切りかぶに頭をぶつけて、首のほねをおり、死んでしまいました。

農民は、思いがけず、ごちそうを手に入れることができました。

「こんなに楽にうさぎが手に入るなら、もう畑をたがやす必要はない。」

そう考えた農民は、くわを放り出して、毎日、切りかぶのそばにすわり、うさぎがまたぶつかってくるのを待ちました。

けれども、うさぎは二度と来ませんでした。そのうちに、畑はすっかりあれてしまい、農民は、国じゅうの笑い者になってしまいました。

農民は、楽をしてもうけようとしたために、かえって大切なものを失ってしまったのです。

この話から、一度うまくいったことにこだわって、古いやり方を守り、進歩がないことを、「株^{かぶ}を守る」というようになりました。

1 うさぎは、何に頭をぶつけましたか。

切りかぶ

2 うさぎを手に入れた後、農民はどうしましたか。

ア 前よりも熱心に畑をたがやした。
イ 畑をたがやすのをやめて、うさぎを待った。
ウ うさぎを売りに行った。

3 農民の畑は、どうなりましたか。

ア 作物がたくさんとれた。
イ すっかりあれてしまった。
ウ うさぎがすみついた。

4 「株^{かぶ}を守る」の意味に合うものに、○をつけましょう。

ア 一度うまくいったことにこだわり、進歩がないこと
イ 木を大切に育てること
ウ ものをなくさないように守ること